

ある家族の記憶から ～「満蒙開拓」と中国帰国者～



教科書の中ではほんの数行で語られる「満蒙開拓」は、日本による満州侵略の歴史であり、当事者たちにさまざまな苦しみや葛藤を強いてきました。戦後 81 年、いまだその歴史の中に生きる人たちが、あなたの、わたしのすぐ隣にいるかもしれません。「満蒙開拓」とそこにつながる家族の記憶を手がかりに、中国帰国者とその家族が背負ってきた歴史を受けとめ、分かち合い、私たちの社会をつくりなおす道をとともに探っていきましょう。

講師：山崎 哲さん（京都大学大学院文学研究科特定研究員（学振 PD））

日時：2026 年 **12** 月 **19** 日（土）16:00～**20** 日（日）12:00

場所：関西セミナーハウス（裏面に地図）

参加費：13,500 円（1泊夕食込み、消費税、京都市宿泊税 200 円込）

* 宿泊は、2～3 名 1 室を基本とします。個室ご希望の場合+1,200 円（市宿泊税差額含む）ご負担ください。
（申込の際ご希望をお知らせください。）

* 2 日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。（1,150 円）

* Web サイト（申込フォーム）、Fax（裏面書式）、メール、電話等でお申込みください。

* 申込締切：12 月 13 日（日）〔定員 20 名程度〕（締切日以降は、お問い合わせください。）

* 部分参加については事務局にお問合せください。

* 前日以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。



申込フォーム

山崎 哲 やまざき さとる

1985 年東京都生まれ。京都大学大学院文学研究科特定研究員（学振 PD）。中国帰国者三世（祖母が中国残留婦人）。「中国残留」という歴史が「終わった出来事」ではなく、家族の記憶や現在の社会関係のなかで再構成され続ける過程を当事者としての立場から研究しつつ、執筆や「戦後世代の語り部」としての活動にも取り組んでいる。編著に『中国残留日本人「三世・四世」という経験』（図書出版みぎわ、2026 年）、共著に『移民第 2 世代のオートエスノグラフィー—当事者 10 人による意味世界の探究』（明石書店、2026 年）、分担執筆として『東京の生活史』所収「もういずれはやるんだからじゃあ時期を早まらせて親世代である残留孤児たちのために介護をやろうと思って、その場で決めちゃった」（筑摩書房、2021 年）などがある。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

【1日目】 15:30 ～ 受付

16:00 ～ 第1セッション「満蒙開拓」の歴史と中国帰国者

- ・自己紹介・ミニワーク「ある家族の記憶から」
- ・山崎さんのおはなし
- ・はなしあい・質問タイム

18:00 ～ 夕食／チェックイン

19:00 ～ 第2セッション 家族の記憶

- ・ミニワーク「山崎さんからの問いかけ」
- ・山崎さんのおはなし
- ・はなしあい・質問タイム

21:00 ～ 交流会

【2日目】 8:00 ～ 朝食／チェックアウト

9:00 ～ 第3セッション わたしたちの社会をつくりなおす

- ・ミニワーク「わたしのとりにある歴史」
- ・山崎さんのおはなし
- ・はなしあい・質問タイム
- ・ふりかえり

12:00 終了予定

セミナー期間中、
開発教育関連書籍
の販売があります。



<主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長 神崎 清一

担当 都木 (とき)



ウェブサイト



* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅、北大路駅が便利です。

[2026 年度 第 5 回 開発教育セミナー申込書]

(フリガナ)	
名 前	所 属
住 所 〒	
電話 ()	FAX ()
電子メール :	@
◎宿泊室 1. 相部屋でよい 2. 個室希望 3. その他ご希望 :	